



Think Life Think Work

「くらし」と
「しごと」を
デザインする

ともに幸せな未来を描く



CANVAS

Canvas Inc.

誰もが
諦めている
職業病に
立ち向かう

Social
Problem

例えば腰痛

どんな職業にも「職業病」が存在します。
重たいものを運び続ける、パソコン画面を見続けるなど
職業の特性や職場の環境によってそれは異なります。

「この職業に就いている以上、仕方がない」
「みんなだって我慢している」

この考えが「職業病」を放置することになり、
目、肩、腰など体に様々な症状を引き起こし、
生産性に影響を与えるだけでなく、
時には休職・退職に発展してしまいます。

職業病は 大きな社会損失

腰痛による
経済損失は
日本全体で **3兆円**

4日以上 休業を要する 職業病の 割合	腰痛	64%
	負傷	12%
	熱中症	6%
	その他	18%



《作業療法士・理学療法士の視点で》 改善へのアプローチ

個人や集団の痛みの原因や対処方法を
変化させるだけでなく、
目には見えない暮らしや仕事の中の
課題を見つけ、解決に向けて専門家を交え、
職員同士でともに考えていく
文化を創造します。

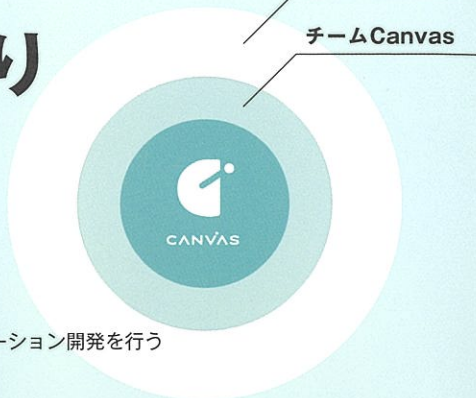


Canvas
Approach

メンバーが一つになり 職業病に立ち向かう

オンラインサロン

チームCanvas



○ チームCanvas

現場に向かいともに職業病の分析やソリューション開発を行う
実践・研究・開発アライアンスメンバー

コアメンバー



藤井 寛幸
Canvas
作業療法士



元廣 惇
Canvas
認定作業療法士



足野 正洋
L:time
理学療法士



小村 康平
えだクリニック整形外科
理学療法士



石田 修平
島根大学医学部附属病院
理学療法士

島根大学人間科学部・医学部 共同研究メンバー



安部 孝文
島根大学
地域包括ケア教育研究センター



奥山 健太
Lund University
公衆衛生学・疫学



陣内 裕成
日本医科大学
公衆衛生学



荒川 長巳
島根大学 名誉教授
産業医・精神科医

事業構築アドバイザー



○ オンラインサロン

国内外の産業医、産業保健師、作業療法士、理学療法士、起業家、研究者などから構成される約200名※のサロンメンバー。多角的に「職業病」を分析し事業構築のアシストを行う。 ※2022年4月時点



詳しくはこちら » Canvasオンラインサロン
<https://www.facebook.com/groups/2159210300895424/about/>

サービスの提供

健康経営支援



しあえる
ciaeru



暮らしと
仕事の
コンサル

職業病の緩和に寄与する
製品の開発

原因・対応策や
社会への影響などを多角的に研究

健康経営支援

「職業病」の原因を分析し、
解消することで
労働の継続と生産性向上を図る



しあえる
ciaeru

《R3・4年島根県発ヘルスケアビジネス事業化補助金採択事業》
《MIXPoC(事業開発・検証サポート事業)採択事業》※MATSUE起業エコシステム推進会議主催
《国立大学法人島根大学共同研究事業》

「しあえる」は企業や従業員が抱える生産性や休職につながる「職業病」に着目し、それを「人・仕事・環境」の観点から分析・解消する新たな健康経営サービスです。
既存の「痛みそのもの」の緩和・治療でなく、痛みの原因となっている「職業病」を様々な職種の視点で分析し、経営者・管理者・従業員と共にワークショップなどを通じて実現可能・持続可能な形で企業に定着することを目指します。

Point

削減できる労働損失額が見える化

01



林業

株式会社さきこり様(島根県雲南市)

《損失の原因になる職業病》
・腰痛 ・首の不調
・肩こり

介入

削減できた損失額

230.0万円

02



建設業(塗装)

株式会社長岡塗装店様(島根県松江市)

《損失の原因になる職業病》
・腰痛 ・首の不調
・肩こり

介入

削減できた損失額

140.9万円

原因へ直接介入することで損失を回避

※詳細はウェブサイトに掲載しています。

さまざまな企業・団体様にご導入いただいています

- 製造業
- 建設業
- 食品製造業
- 金属加工業
- 木材加工業
- 飲食店
- 保育園
- 歯科クリニック
- 就労支援事業所
- IT企業
- オフィスワーカー
- 運送業 など



職業病の分析

アンケート・現場分析・フィジカルチェックでの「人・仕事・環境」の実態調査をします。

Benefit

- ◎従業員の生の声が聞ける
- ◎労働生産損失(金額・内容)の実態がわかる
- ◎企業の分析レポートが手に入る



ワークショップ

STEP 1 で出た課題に対する改善策の提案と指導を行います。

Benefit

- ◎従業員の健康に対する感覚が上がる
- ◎業務上の困りごとを共有できる
- ◎職場に一体感が生まれる



課題解決策の実施と効果検証

介入効果の検証とアフターフォローで今後の指針をご提案します。

Benefit

- ◎労働生産損失(金額・内容)の変化がわかる
- ◎「企業カルテ」で今後の方針がわかる

初期分析 無料

初期分析(労働損失額の見える化)は無料で承っております。
その後のサービスに移行する場合は双方合意の元契約を結びます。
詳しくは、お問い合わせください。

個人が抱える 仕事と痛みの問題にも 直接対応します。

暮らしと仕事のコンサル(くらコン)は、企業で働く従業員の一人ひとりが抱える問題を解決するサービスです。

「ぎっくり腰を度々起こす」「3ヶ月以上続く腰痛がある」「痛みが原因で職場に迷惑をかけたくない」などの従業員個人の悩みに寄り添い、個別の依頼を受けてセラピストが「職場に赴いて指導」を行います。

○個別カウンセリング

○からだのチェック

○暮らしのセルフケア指導

暮らしと 仕事の コンサル



金属加工業
株式会社
協栄ファスナー工業様

生産性低下による
労働損失額が

12.3万円 → 0.9万円

※社員一人当たり
※暮らしと仕事のコンサルを3回実施した製造業従業員の労働生産損失額(月額平均値)

※詳細はウェブサイトに掲載しています。



作業療法士・しじみ漁師
藤井 寛幸



仕事の困りごととしてよく相談されるのが“痛み”に対する身体的な困りごとです。その痛みの背景には仕事環境、職場の人間関係、将来への不安などが影響しており、組織全体の認識が変わることで乗り越えられる事を今まで多く経験してきました。“企業は人なり”といった言葉があるように、より良い職場を社員の皆様が自分ごととして考えていく事で、皆様の「くらし」と「しごと」のより良い在り方に繋がっていきます。

「ともに幸せな未来を描く」という経営理念に込められたもの、それは与える・与えられる関係でなく「お互いが幸せであってほしい」という私たちの心からの想いです。私たちと皆様、また職場で働く皆様同士のお互いの幸せを創ることを、弊社のサービスを通じてお手伝いさせて頂ければこの上なく嬉しく思います。

- 島根県リハビリテーション専門職協議会 会長(2020~)
- (一社)島根県作業療法士会 地域支援事業委員会 委員長(2019~)
- 高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進ワーキング「地域包括ケアシステム推進部会」委員(松江市)
- 健康経営アドバイザー(認定番号 21004751)
- (株)Community Care リハビリテーション部 部長(~2021.3)

作業療法士免許取得後、回復期リハビリテーション病院で5年間臨床業務に従事する。暮らしに寄り添ったリハビリテーションの可能性を広げるため、リハビリテーション部門開設の責任者として株式会社Community Careへ入社する。小規模多機能自治「地域自主組織」と連携し健康長寿推進事業、阿用地区健康調査事業(島根大学や地元企業と連携)などの予防医療に特化したプロジェクトなど専門性を活かしたまちづくりの活動を展開していった。

2018年には地域自主組織、島根リハビリテーション学院と連携し「地域のつながり」を活かした日本初の地域課題解決型授業CBRプロジェクト(Community-Based Rehabilitation)を手がけ、後進の育成にも力を入れている。

「皆が健康に自分らしく働ける社会をつくる」

この社会の大きな命題、ビジョンに向かい、地域と企業での実践者である藤井とともに、私は教育者や研究者の目線から、より良いサービス体系を構築し、皆様にご提案して参ります。弊社のサービスを通じて少しでも皆様のより良い仕事の在り方に貢献できればと考えております。働く皆様とともに成長していく会社・サービスでもございますので、是非、皆様の率直な想いやお声をお聞かせ頂ければ幸いです。

- 博士(医学) ○認定作業療法士(日本作業療法士協会認定)
- 国家資格キャリアコンサルタント
- 国立大学法人島根大学 研究・学術情報本部 地域包括ケア教育研究センター CoHRE(The Center for Community-based Healthcare Research and Education)客員研究員
- 島根リハビリテーション学院 作業療法科学科科長(~2021.3)他

作業療法士免許を取得後、超急性期~生活期病院にて幅広い疾患領域に対する臨床業務に7年間従事する。その間、研究会の県代表、学術団体立ち上げ、全国での講師活動等の指導的立場を経験する。28歳で養成校作業療法学科専任教員に就任し、在籍教員最年少30歳で学科長の任命を受ける。教育マネジメント全般、広報渉外、新設大学設置審査及び、行政、銀行、大学などの各機関との産官学連携(産業ブランディング・ヘルスツーリズムなど)のプロジェクトマネジメントを複数経験する。また日本初の多職種連携-地域課題解決授業である「CBRプロジェクト」を立ち上げ、2018年より島根県をフィールドに展開する。

研究歴として、島根大学大学院修士課程(神経内科学講座)、博士課程(地域教育学講座)での心理学研究や教育研究を経て、現在は島根大学CoHRE客員研究員として Lund 大学(スウェーデン)等の研究者と連携しながら GIS (Geographic Information System:地理情報システム)を用いた公衆衛生研究及び健康経営に関する実証研究や企業の健康投資の可視化に関する産業衛生学研究に従事し、またIT企業×岡山大学のアクチュエータ上肢機器の共同開発・実装プロジェクトなど広く参画している。

主な受賞歴・採択歴として伝統産業とリハビリテーションの価値を掛け合わせた産業再生プロトタイプ開発プロジェクト(地域創生加速化交付金対象事業)による「Tokyo Design Week Award 2016」「日本学術振興会科学研究費補助金」などがある。学術論文、学会発表、講演、メディア出演多数(2022年4月時点)



博士(医学)・認定作業療法士
元廣 惇



株式会社Canvas

本社：島根県松江市北陵町1 テクノアークしまね インキュベーションルーム02

支社：島根県雲南市木次町里方366

TEL：080-9797-4582

- 事業内容
- 行政・企業・地域団体・個人に対してのヘルスケアサービス業務
 - 医療・保健に関する情報の収集・処理サービス及び情報提供サービス業務
 - 医療・保健に関する営業、調査、マーケティングの支援
 - 医療・保健に関する行政・企業・地域団体・個人に対しての研究調査業務
 - 医療・保健関連人材の育成、能力開発のための教育及びコンサルティング業務
 - 医療・保健関連人材に対する研修、セミナー、講演会、講習会等の各種催事の企画、立案、実施、運営及びそれらに関するコンサルティング業務 等

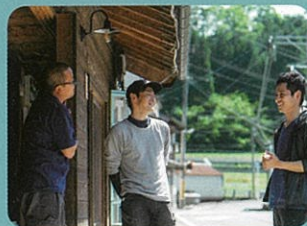
<https://canvas.co.jp>



ウェブサイト

様々な地域の在り方に対して、
様々な行政機関・団体・企業・個人と連携しながら関わっています。

- 島根県雲南市「地域自主組織」への関わり
- 島根県雲南市「総合事業」への関わり
- 島根県松江市「地域包括ケアシステム」推進
- 個別の対象者に対する短期集中リハ



卒前・卒後での教育及び関連研究プロジェクトに
大学機関等と連携して取り組んでいます。

- 地域課題解決型授業「CBRプロジェクト」
- 療法士向けリカレント(学びなおし)プログラム
- 個別コンサルティング
- 講演
- 研究プロジェクト



弊社の専門性を活かし、
複数他社と共同で製品開発をしております。

CASE オフィスワーカー向け座位支援器具

2021年は島根県出雲市の西日本最大の自社工場を持つ寝具メーカーである「浅尾織維工業」様、松江市の印刷会社「千鳥印刷」様と共に様々なマーケティング手法を用いて協議を進め、オフィスワーカー向けの商品を開発しております。



SERVICE
01

健康経営支援

SERVICE
02

地域課題解決

SERVICE
03

教育・研究プラットフォーム

SERVICE
04

製品開発